



第8回(2016年)

高知オレンジリボン キャンペーン

活動報告書



オレンジリボンキャンペーンとは?

趣旨

児童虐待に関する相談件数は増加の一途をたどっており、社会全体で早急に解決すべき課題となっています。高知県内でも平成26年12月末、3歳女児が母親と叔母から暴行を受け亡くなるという痛ましい事件が発生しました。二度とこのようなことが起こらないためにも、虐待の発生予防、早期発見、早期対応が重要です。これらの総合的な支援や対策には、子どもや子育て家庭に携わる援助関係者や地域の人々の理解を深めていくことが不可欠です。家庭や学校、地域など、社会全般にわたり児童虐待問題に対する深い関心と理解が得られることを目的としてオレンジリボンキャンペーンを行いました。

シンボルのオレンジリボンについて…

平成16年9月、栃木県小山市で2人の幼い兄弟が虐待の末、亡くなるという痛ましい事件がありました。「二度とこのような悲劇がおこらないように」との願いから、オレンジリボンキャンペーンは始まりました。オレンジ色は里子である子ども達が選んだ色です。

オレンジリボンには「お話ししましょう、気持ちを分かち合いませんか。自分の気持ちに気付くことは子ども虐待の予防につながります」というメッセージが込められています。

高知県では

2009年より高知県内各市町村、地域の方々、企業や団体にご協力いただき、(社福)高知県社会福祉協議会、高知県児童養護施設協議会、高知県児童家庭支援センター協議会が中心になりオレンジリボンキャンペーン実行委員会を結成し、子ども虐待防止のオレンジリボンキャンペーンに取り組んでいます。

今年で8回目になり、一人でも多くの方に虐待防止に関心をもっていただき、子どもを地域で守り育てる意識をもっていただけるよう活動しています。

高知オレンジリボンキャンペーン2016

子どもへの虐待を 방지、子どもと家族の笑顔のために高知オレンジリボンキャンペーンを始めて、今年で8年目を迎えます。子ども虐待に関する社会の理解は深まってきてはいますが、まだまだ十分とは言えません。子育てに悩む親を支え、虐待を受けてしまった子どもたちへの支援を行うためには、社会全体が子ども虐待について理解し、それぞれが出来ることを果たす必要があります。高知県でのオレンジリボンの認知度は徐々に広がり、多くの方々から活動に協力してくれています。本年度のキャンペーン活動は講演会の2回開催と、パレードを行いました。あいにくの雨で予定していたさきりレーはパレードとなりましたが、多くの方々のご協力に心より感謝申し上げます。平成29年度もこの活動を継続してまいります。皆様とともに「子どもと子育て家族の笑顔のために」手を携えて歩んでまいりたいと思います。今後とも一層のご支援、ご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

実行委員長 谷本 恭子(高知県児童養護施設協議会 会長)
(児童養護施設 高知聖園天使園 園長)

11月の児童虐待防止推進月間を中心に高知オレンジリボンキャンペーンが繰り広げられました

講演会

講師 関西大学 人間健康学部 人間健康学科
山縣 文治 教授

西部会場 H28.11.5(土) 44名参加
会場:土佐清水市社会福祉センター(3F 大会議場)
中部会場 H28.11.6(日) 67名参加
会場:高知県人権啓発センター(6F ホール)
「子ども虐待の支援で大切なこと～地域の関わりから～」



とても分かりやすい内容でした。「うまくいなくて当たり前・人間てそんなもの」と言う言葉になんだかホッとしました。「でもあきらめない、メッセージを送り続ける」私でも実践できる!と自信がもてました。(アンケートより)



たすきリレー H28.12.4(日) じんげんふれあいフェスタにて

香南市や・シィパークをスタート高知市中央公園をゴールとするたすきリレーの予定でしたが今年も雨に泣かれ、リレーは中止。苅屋町商店街を“パレード”しました。



虐待防止の願いを込めて

一般の方も大勢参加してくれました



じんげんふれあいフェスタの舞台にて
オレンジリボンキャンペーンのメッセージを伝えました

雨の中でも思いは一つ



ブースでは手作りおもちゃコーナーに
たくさんの親子が参加してくれました

高知県立大学学生ボランティア
「結」の皆様ご協力
ありがとうございました

学生ボランティアさんと一緒に

児童虐待防止推進月間事業(広報・啓発事業)

- 高知県庁児童虐待防止横断幕掲示(H28.11.1~11.30)
- 啓発ポスター・チラシなどの作成及び配布
- オレンジリボングッズの配布
- ＊協力依頼 各市町村、児童福祉関係機関、保育園、学校、病院など
- 各種イベントでの啓発活動
- ＊パネル展示、ポスター掲示、チラシ・啓発グッズ配布等
- ・はたフェス in 宿毛(H28.9.25)宿毛市新港緑地
- ・第7回 こうち介護の日2016(H28.11.6)高知駅前広場
- ・佐川町福祉大会(H28.11.13)
- ・「乳幼児虐待予防を目指して」カンガルーの会(H28.10.14)
- ・第8回 みさとフェア(H28.11.20)高知市立三里中学校
- ・ヤ・シィの秋祭り(H28.11.20)夜須町ヤ・シィパーク
- ＊広報
県及び市町村広報紙・新聞広告・他の情報誌掲載
テレビCM・TV・ラジオ告知

はたフェス



青空の中はたフェスでも手作りおもちゃ作りをととしてPRしました

ヤ・シィの秋祭り



オレンジリボン運動

オレンジリボン運動とは、児童虐待防止の啓発活動として、児童虐待防止推進月間を中心に、毎月11月を「オレンジリボン運動の月」として、児童虐待防止の啓発活動を行うことである。

知ってください

高知県における児童虐待の現状

児童虐待の発生件数は、2017年度は前年度に比べて増加傾向にある。特に、児童虐待の発生件数は、2017年度は前年度に比べて増加傾向にある。特に、児童虐待の発生件数は、2017年度は前年度に比べて増加傾向にある。

虐待の現状(高知県)

児童虐待の発生件数は、2017年度は前年度に比べて増加傾向にある。特に、児童虐待の発生件数は、2017年度は前年度に比べて増加傾向にある。

オレンジリボン運動のはじまり

2005年、高知県庁で初めて「オレンジリボン運動」が実施された。以来、毎年11月を「オレンジリボン運動の月」として、児童虐待防止の啓発活動を行うことである。

高知オレンジリボンキャンペーン 活動内容

高知オレンジリボンキャンペーンは、児童虐待防止の啓発活動として、児童虐待防止推進月間を中心に、毎月11月を「オレンジリボン運動の月」として、児童虐待防止の啓発活動を行うことである。

高知オレンジリボンキャンペーン 活動内容

高知オレンジリボンキャンペーンは、児童虐待防止の啓発活動として、児童虐待防止推進月間を中心に、毎月11月を「オレンジリボン運動の月」として、児童虐待防止の啓発活動を行うことである。

今年度はパネルを新しくしました。

高知県のデータをのせています。どこかで見かけたらじっくり見てください。

児童虐待防止推進月間

児童虐待防止推進月間は、毎年11月を「児童虐待防止推進月間」として、児童虐待防止の啓発活動を行うことである。

啓発を支えるグッズたち

手作りリボン

高知オレンジリボンキャンペーン活動に賛金をいただいたお礼として、啓発グッズをお渡しています。いただいた募金は、子ども虐待防止啓発活動に使わせていただいております。

ポケットティッシュ

高知オレンジリボンキャンペーン活動に賛金をいただいたお礼として、啓発グッズをお渡しています。いただいた募金は、子ども虐待防止啓発活動に使わせていただいております。

缶バッジ

高知オレンジリボンキャンペーン活動に賛金をいただいたお礼として、啓発グッズをお渡しています。いただいた募金は、子ども虐待防止啓発活動に使わせていただいております。

Tシャツ

高知オレンジリボンキャンペーン活動に賛金をいただいたお礼として、啓発グッズをお渡しています。いただいた募金は、子ども虐待防止啓発活動に使わせていただいております。

ピンバッジ

高知オレンジリボンキャンペーン活動に賛金をいただいたお礼として、啓発グッズをお渡しています。いただいた募金は、子ども虐待防止啓発活動に使わせていただいております。

ボールペン

高知オレンジリボンキャンペーン活動に賛金をいただいたお礼として、啓発グッズをお渡しています。いただいた募金は、子ども虐待防止啓発活動に使わせていただいております。

車用マグネット

高知オレンジリボンキャンペーン活動に賛金をいただいたお礼として、啓発グッズをお渡しています。いただいた募金は、子ども虐待防止啓発活動に使わせていただいております。

シール

高知オレンジリボンキャンペーン活動に賛金をいただいたお礼として、啓発グッズをお渡しています。いただいた募金は、子ども虐待防止啓発活動に使わせていただいております。

クリアファイル

高知オレンジリボンキャンペーン活動に賛金をいただいたお礼として、啓発グッズをお渡しています。いただいた募金は、子ども虐待防止啓発活動に使わせていただいております。

タオル

高知オレンジリボンキャンペーン活動に賛金をいただいたお礼として、啓発グッズをお渡しています。いただいた募金は、子ども虐待防止啓発活動に使わせていただいております。

子どもを虐待から守るための5か条

(厚生労働省リーフレットより)

- ①「おかしい」と感じたら迷わず連絡(通告)
(通告は義務=権利)
- ②「しつけのつもり」は言い訳(子どもの立場で判断)
- ③ひとりで抱え込まない(あなたにできることから即実行)
- ④親の立場より子どもの立場(子どもの命が最優先)
- ⑤虐待はあなたの周りでも起こりうる(特別なことではない)

あなたからの連絡が、子どもを虐待から守るための大きな一歩となります



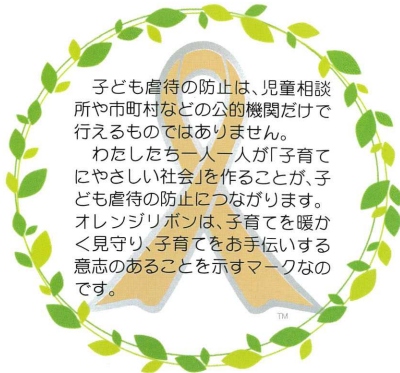
ご協力に感謝いたします

募金

「mamaの市」さま
その他募金を頂いた皆さま



★子どもに希望あふれた明るい未来を
届けるために「子ども虐待予防の輪」を
みんなで拡げていきましょう
ご理解とご協力をお願いいたします



子ども虐待の防止は、児童相談所や市町村などの公的機関だけで行えるものではありません。わたしたち一人一人が「子育てにやさしい社会」を作ることが、子ども虐待の防止につながります。オレンジリボンは、子育てを暖かく見守り、子育てをお手伝いする意図のあることを示すマークなのです。

● 共 催 ●
高知県
● 後 援 ●
高知県内 各市町村



高知県教育委員会
高知県民生委員児童委員協議会連合会
高知県少年補導育成センター連絡協議会
全国児童家庭支援センター協議会
高知県市町村社会福祉協議会連絡会
高知県立大学
高知医療学院
高知福祉専門学校
平成福祉専門学校
NHK高知放送局
RKC高知放送
読賣新聞高知支局

高知県保育士会
高知地方法務局
高知県里親連合会
子どもの虹情報研修センター
高知弁護士会
高知学園短期大学
高知県医師会看護専門学校
高知リハビリテーション学院
龍馬看護ふくし専門学校
KUTVテレビ高知
高知新聞社
産経新聞社高知支局

高知県警察
高知県人権擁護委員連合会
認定NPO法人カンガルーの会
高知大学
高知県医師会
高知県立幡多看護専門学校
高知県医師会准看護学院
土佐リハビリテーションカレッジ
四万十看護学院
KSSさんさんテレビ
朝日新聞高知総局

● 協 賛 ●
(財)高知県福祉活動支援基金
(公財)資生堂社会福祉事業財団
● 主 催 ●

高知オレンジリボンキャンペーン2016実行委員会

(社福)高知県社会福祉協議会・高知県児童養護施設協議会・高知県児童家庭支援センター協議会
実行委員長／高知県児童養護施設協議会 会長 谷本 恭子(児童養護施設 高知聖園天使園 園長)



* こどもや家庭のことで、困っていることや心配なことがあれば、お気軽にご相談ください *

児童家庭支援センター 高知みその

TEL 088-872-6488
高知市新本町1丁目7-30

児童家庭支援センター ひだまり

TEL 0889-20-0203
高岡郡佐川町甲1110-1

児童家庭支援センター わかくさ

TEL 0880-33-0258
四万十市下田2211

* 虐待かな?と思ったら、各市町村窓口・児童相談所に連絡してください *

高知県中央児童相談所

TEL 088-866-6791
高知市大津甲770-1

高知県幡多児童相談所

TEL 0880-37-3159
四万十市渡川1丁目6-21

連絡は匿名で行うことも可能です。連絡者や、連絡内容に関する秘密は守られます。

高知家



児童相談所
全国共通
ダイヤル

1 8 9

子どもたちや子育てに悩む保護者のSOSの声をいちはやくキャッチ!

～189番にかけると、お近くの児童相談所につながります～